

創立45周年
仙台宗教音楽合唱団 第34回演奏会

『メサイア』
"Der Messias" KV 572
G.F.ヘンデル作曲 / W.A.モーツァルト編曲

「ハレルヤコーラス」で名高いヘンデルの「メサイア」は1742年ロンドンで作曲されたオラトリオです。イエス・キリストの生誕から受難、そして復活に至る物語を音楽で描いたこの作品は発表当時から高い評価を得て何度も再演されました。約半世紀後、その頃ウィーンに住んでいたモーツァルトは自らの指揮でこの曲を演奏するため、歌詞を英語からドイツ語に訳し、新たに管楽器群を加え、曲の一部を変更して自作を加えるなど大胆な編曲をほどこしました。モーツァルトはバッハやヘンデル等の作品を広範に研究しており、バロック音楽の様式を自らのものとしたその成果は、後年の「レクイエム」などの作品にも結実しています。今回私たちが演奏するモーツァルト版「メサイア」は、二人の巨人の、時代を超えた出会いが生んだ作品なのです。

2012年5月27日(日)

東北大学百周年会館 川内萩ホール

14:30 開場 15:00 開演

指揮:佐々木 正利

管弦楽:山形交響楽団

独 唱:ソプラノ/村元 彩夏

アルト/谷地 畝 晶子

テノール/鏡 貴之

バス/佐々木 直樹

合 唱:仙台宗教音楽合唱団

入場料:前売り/当日売り共に一般3,000円(全席自由)

学生2,000円 学生券をお求めの方は
当日学生証をお持ちください。

※チケットは1月27日(金)から下記で発売します。

プレイガイド:仙台三越、藤崎、ヤマハ、カワイ、ローソンチケット(Lコード:24452)、
仙台・杜の響きコンサートホームページ <http://www.morinohibiki.com/>

お問い合わせ:仙台・杜の響きコンサート TEL.022-302-3344 FAX.022-227-6519

仙台宗教音楽合唱団へのお問い合わせ:TEL.022-247-4876(柴田)

e-mail:pondon@mui.biglobe.ne.jp(柴田)

URL:<http://www.geocities.co.jp/hollywood/6377>

後援:(財)仙台市市民文化事業団、(財)宮城県文化振興財団、朝日新聞社仙台総局、河北新報社、NHK仙台放送局

<アクセス>

※駐車場には限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関等のご利用をお願いします。

○バス

♪仙台駅前9番のりばより「宮教大・青葉台行」または「青葉通経由動物公園循環」に乗り、「東北大川内キャンパス・萩ホール前」で下車(乗車時間約15分)徒歩3分

♪仙台駅前16番のりばより「広瀬通経由交通公園・川内(宮)行」または「広瀬通経由交通公園循環」に乗り、「川内郵便局前」で下車(乗車時間約15分)徒歩7分

○タクシー/仙台駅から約10分

●団員募集

一緒に歌いませんか?

練習日:毎週木曜日

18:30~21:00

毎月1回日曜日

練習会場:仙台ハリストス
正教会

(東二番丁七十七銀行本店南隣)

『メサイア』

"Der Messias" KV 572 G.F.ヘンデル作曲 / W.A.モーツァルト編曲

出演者プロフィール

佐々木 正利 / 指揮

岩手県盛岡市出身。東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士及び博士後期課程修了。1979年にシュトゥットガルトに渡り、L.フィッシャー教授に師事。1980年第6回ライプツィヒ国際バッハコンクール声楽部門第5位入賞。同年より82年までデットモルト北西ドイツ音楽大学に学び、H.クレッチマル教授に師事。オラトリオ、カンタータなどの宗教音楽を専門とし、特に日本を代表する「バッハ演奏家」として、85年のザルツブルク音楽祭をはじめ、内外で福音史家、テノール・ソロを務め絶賛されている。合唱指揮者としても、仙台宗教音楽合唱団、盛岡バッハ・カンタータ・フェライン、岡山バッハカンタータ協会を率いてドイツ、フランスなどで行った演奏会は、回を重ねるごとに各地で高く評価されている。現在、岩手大学教育学部音楽科教授。岩手大学教育学部附属小学校校長。二期会会員。日本声楽発声学会副理事長、日本教育大学協会全国音楽部門大学部会副会長、日本音楽表現学会会長諮問委員。長年にわたる顕著な演奏・教育の業績に対し、2011年には日独交流150周年を記念して、ドイツ大使館より日独友好賞(功労賞)が授与された。

村元 彩夏 / ソプラノ

青森県五所川原市出身。岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程独唱専攻修了。現在同大学院博士後期課程1年次に在学中。声楽を佐々木正利、朝倉蒼生、秦貴美子、寺谷千枝子の各氏に師事。第20回友愛ドイツリートコンクール第一位、文部科学大臣賞受賞。副賞として2010年ウィーンにてリサイタルを行う。朝日新聞社主催第60回『藝大メサイア』のソリストを務める。これまでに、J.S.バッハの教会カンタータ作品、「クリスマス・オラトリオ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト、フォーレ、ラター「レクイエム」、メンデルスゾーン「エリヤ」等においてソプラノソロを務める。

谷地 晶子 / アルト

岩手県盛岡市出身。岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程独唱専攻修了。現在同大学院博士後期課程2年次に在学中。声楽を佐々木まり子、佐々木正利、磯貝静江、朝倉蒼生、伊原直子の各氏に師事。第16回日仏声楽コンクール第1位。第57回『藝大メサイア』、第28回台東区第九、第349回藝大合唱定期ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」のアルトソロ、第54回藝大定期オペラ「ファルスタッフ」クイックリー夫人、を務める。また、J.S.バッハ「クリスマス・オラトリオ」、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」、メンデルスゾーン「パウロ」「エリヤ」等においてアルトソリストで出演している。

鏡 貴之 / テノール

岩手県盛岡市出身。岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程独唱専攻修了。声楽を佐々木まり子、佐々木正利、多田羅迪夫の各氏に師事。主にオラトリオ、宗教曲のソリストとして活躍している。これまでに

ヘルムート・ヴィンジャーマン、ハンス・マルティン・シュナイト、鈴木雅明などの著名な指揮者と共演して高い評価を得ている。盛岡バッハ・カンタータ・フェライン、東京21合唱団、日本声楽発声学会、各会員。東京バッハ合唱団、東京ムジーククライス合唱団、各ヴォイストレーナー。バッハ・コレギウム・ジャパン、メンバー。

佐々木 直樹 / バス

岩手県盛岡市出身。岩手大学教育学部中学校教員養成課程音楽科卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。声楽を佐々木正利、佐々木まり子、故伊藤巨行、多田羅迪夫の各氏に師事。J.S.バッハをはじめヘンデルやモーツァルトなど、主に宗教音楽のソリストとして活躍している。2001年藝大定期メンデルスゾーン「エリヤ」、2002年『藝大メサイア』のソリストを務める。またバッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして国内外の公演や録音に参加。2003～2006年、岩手大学教育学部非常勤講師。現在、島根大学教育学部准教授。松江バッハ・カンタータ・フェライン指揮者、日本声楽発声学会会員。

山形交響楽団 / オーケストラ

1972年、山形県出身の指揮者村川千秋によって東北地方では初めてのプロ・オーケストラとして誕生。1974年山形交響楽協会が公益社団法人として認可され、本格的に演奏活動を展開。その後山形県芸術文化会議賞、齋藤茂吉文化賞、河北文化賞を受賞。2001年にはサントリー地域文化賞を、さらに2007年には地域文化功労者文部科学大臣表彰を受け、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立した。2006年、オーケストラとしては日本初となる自主CDレーベル「YSO live」を立ち上げ、各方面から高い評価を得ている。現在、音楽監督に飯森範親、創立名誉指揮者に村川千秋、名誉指揮者に黒岩英臣、指揮者に工藤俊幸、大井剛史、コンポーザー・イン・レジデンスに西村朗を擁している。

仙台宗教音楽合唱団 / 合唱

1967年の創立以来、一貫して「宗教音楽」、特にドイツ・バロック期の宗教合唱歌曲を中心にすえて活動。82年以降は佐々木正利氏を常任指揮者に迎え、バッハのヨハネ、マタイ両受難曲、ミサ曲口短調、クリスマス・オラトリオ、カンタータ等に加え、シュッツ、ヘンデル、モーツァルトなどの、いわゆる「古典」とされる作品から、近現代の無名に近い、しかし綺羅星の如き様々な作品を演奏している。作品の本質に迫るためには、「歌詞の深い表現とそこに込められたメッセージへの共感」を十全に表現することが大切であり、そのためにはまず「正確な発音、訓練された発声」と「正しい様式感」が不可欠であるという佐々木正利氏の指導のもと、様々なバックグラウンドを持つ団員が集まり、演奏会を目指し練習を重ねている。2010年には盛岡バッハ・カンタータ・フェラインと共にH.リリングの指揮のもとオーケストラ・アンサンブル金沢の仙台、盛岡公演でバッハのミサ曲口短調を演奏し好評を博した。